

充実した学修環境

■ 図書館	111
■ 情報処理室とAL (Active Learning) 教室の利用について	114
■ 個人アカウント	114
■ 学内ネットワークへの接続	114
■ 国際交流	116
■ ラーニングサポートセンター (英語村)	120
■ ボランティアセンター	121
■ フィットネスルームの利用について	122

図書館

本学の図書館は、保健、医療、福祉系および一般教養の図書、雑誌を中心に所蔵し、閲覧、貸出しサービスをはじめ、国内外の文献の情報検索、学外資料の収集サービス、複写サービスなどを行っています。

下記の利用案内に示すルールに従って十分に活用してください。

利用案内

1. 開館時間

平 日	9：00～20：00（学生休業期間中 9：00～17：00）
土日祝日	9：00～18：00

※ その他開館時間の変更については、図書館ホームページ
(<http://lib.jei.ac.jp/phoenix/>)、館内掲示にてお知らせします。

2. 貸出冊数と期間

学 生	10日間	5冊以内
教職員	60日間	冊数制限なし

- ※ 1. 休暇中および実習期間中は長期貸出を行います。
2. 延滞者には、一時的に貸出を制限します。

3. 本の借り方、返し方

- (1) 本の借り方
 - ア. 借りたい本と学生証をカウンターに持って来てください。
 - イ. 館員が本と学生証を確認して、返却予定日を知らせます。
 - ウ. 同じ本を続けて借りる時（継続貸出）は、貸出期限内に本と学生証を持って来てください。ただし、延滞者には、継続貸出はできません。また、その本が予約されている場合も継続貸出はできません。なお、継続貸出は、2回までです。
- (2) 本の返し方

借りている本をカウンターへ持って来てください。図書館閉館時は、ブックリターンポストを利用してください。
- (3) 返却が遅れた場合
 - ア. 遅れた日数だけ貸出停止の処置をします。
 - イ. 返却期間を1ヵ月以上経過した場合は、督促の連絡をします。
 - ウ. 貸出停止日数が30日を越える場合は、貸出停止期間を30日とします。

4. 図書館施設の利用について

- (1) 閲覧室（サイレントエリア・グループワークエリア・アクティブエリア・プレゼンエリア）

館内では、図書や雑誌は手続きなしで利用できます。

サイレントエリアは静かに読書・学習するスペースです。

アクティブエリアは話し合いをしながら学習することのできるスペースです。人数に応じて机と椅子を組みかえて利用できます。

グループワークエリアは少人数で机を囲んで学習するスペースです。

プレゼンエリアはプロジェクタ・スクリーンを利用して発表練習などを行うことのできるスペースです。

グループワークエリア・アクティブエリア・プレゼンエリアはそれぞれ予約をすることができます。
- (2) レファレンスコーナー

事典、辞書、白書類などの利用の高い図書が配架してあります。
- (3) 新聞コーナー

新聞架に当日の全国紙、地方紙をはじめ専門紙、外国紙などがあります。当日以前の新聞も保管してあります

ので、館員に尋ねてください。

(4) AVコーナー

視聴覚資料は、館内での利用のみです（禁帯出）。利用の際は、「利用申込票」に必要事項を記入し、「学生証」を添えてカウンターへ申し出てください。利用時間は、平日の9：00～17：00（受付は16：00まで）です。

5. 図書館資料の利用について

(1) 図書の探し方

図書館の図書は全て、内容を表す番号（日本十進分類法NDC）の順に配列してあります。同じ内容の本を一カ所に集め、また似た内容の本を近くに置いて探し易くするためです。番号は、本の背ラベルに表示してあります。効率的に図書を探す方法として、蔵書検索端末機による検索があります。探していた図書の情報が見つかったら、内容を表す番号を確認し、書架から本を探してください。

(2) 雑誌の探し方

図書館では、学術雑誌を展示しています。（禁帯出）
新着雑誌が並べられた展示書架の後ろは収納式になっています。雑誌ののっている棚を上を持ちあげると、その年のバックナンバー（既刊の号）が収めてあります。バックナンバーは原則的に製本し、図書資料として書庫に配架します。また、探している雑誌が本学にない時は、他大学などからコピーを取り寄せることもできます。

6. 図書の予約

必要としている本が貸出中の時は予約ができ、返却された時優先的に借りることができます。貸出中かどうかの確認は蔵書検索端末機でできますが、わからなければ、館員に尋ねて下さい。

7. 文献複写サービス

図書館資料の複写を必要とする利用者にコピーサービスを行っています。ただし、複写は著作権法に抵触しない範囲で、「文献に関する自動複製機器（コピー機）利用願い」に必要事項を記入し、利用して下さい。
複写はコイン式でセルフサービスです。

8. 利用相談

図書館の利用、資料の探し方などわからないことがあれば、館員に尋ねて下さい。例えば、以下のような時です。

- (1) 探している本が見つからない。
- (2) 本を借りたい。
- (3) どんな資料を探したらよいかわからない。
- (4) 本学にない資料のコピーが欲しい。
- (5) よその図書館へ行きたい。

9. 貸出用パソコンの利用について

図書館内での利用に限り、タブレットパソコンの貸し出しをします。利用したい場合は図書館員に申し出て下さい。

10. 他大学等図書館の利用について

- (1) 教職員及び学生は、図書館を通じて他大学及び他の機関の図書館等を利用することができます。
- (2) 図書館利用の範囲、方法は、閲覧、複写物の取り寄せ、借用等で、相手館の指示に従うものとします。
- (3) 利用の申込みは所定の用紙に必要事項を記入の上、提出してください。
- (4) 複写物の取り寄せ、郵便による資料の借用などの料金は申込者の負担となります。

11. 図書館利用上の注意事項

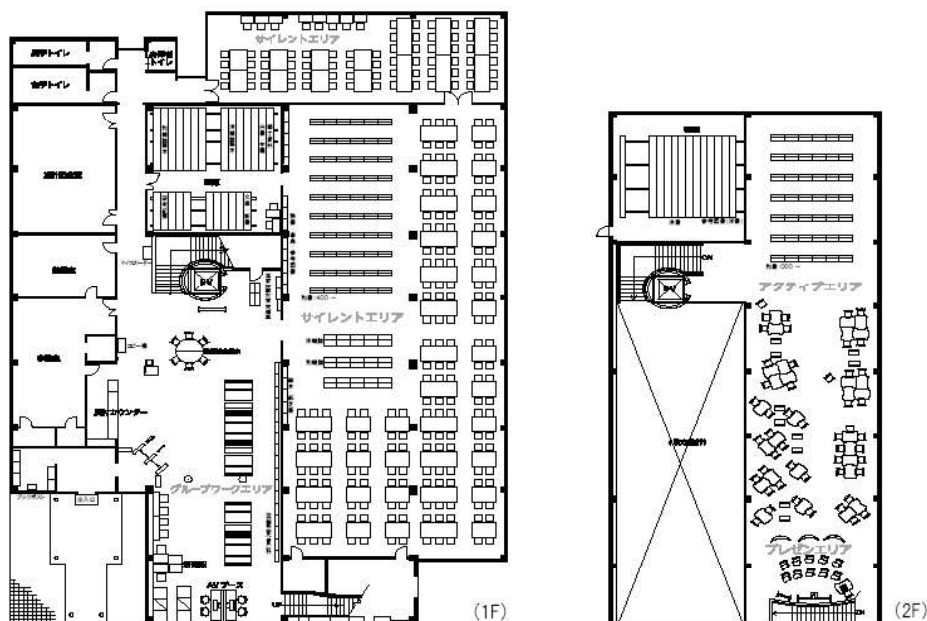
- (1) 図書館内では携帯電話の通話は禁止です。携帯電話は電源を切るかマナーモードに設定して入館してください。
- (2) 傘及び手持品は各自の責任において保管して下さい。
- (3) 図書のまた貸し、また借りをしないで下さい。他の人の学生証を使って図書を借りないでください。理由の如何を問わず、貸出名義人が全責任を追うことになりますので、安易に学生証の貸し借りをするのは絶対にやめましょう。

- (4) 図書を紛失または破損した場合は原則として現物をもって弁償することになっていますが、先ず速やかに館員に届け、その指示を受けてください。
- (5) 図書館内での飲食は禁止です。密閉できる容器に入った飲み物等を持ち込む場合も机の上に置かず、バッグ等の中に入れてください。
- (6) その他館内での行動については館員の指示に従ってください。
- (7) 他の利用者に迷惑となる行為が著しい場合は退館してもらうこともあります。
- (8) ダイヤル施錠式のロッカーを利用することができます。利用は当日限りとなっていますが日にちをまたいで利用したい場合は申し込みをしてください。

日本十進分類表（8版）

000 総記	250 北アメリカ史	500 技術、工学、工業	750 工芸
010 図書館	260 南アメリカ史	510 建設工学、土木工学	760 音楽、舞踊
020 図書、書誌学	270 オセアニア史	520 建築学	770 演劇、映画
030 百科事典	280 伝記	530 機械工学、原子力工学	780 スポーツ、体育
040 一般論文、講演集	290 地理、地誌、紀行	540 電気工学、電子工学	790 諸芸、娯楽
050 逐次刊行物、年鑑	300 社会科学	550 海洋工学、船舶工学、兵器	800 言語
060 学会、団体、研究調査機関	310 政治	560 金属工学、鉱山工学	810 日本語
070 ジャーナリズム、新聞	320 法律	570 化学工業	820 中国語、東洋の諸言語
080 叢書、全集	330 経済	580 製造工業	830 英語
090	340 財政	590 家政学、生活科学	840 ドイツ語
100 哲学	350 統計	600 産業	850 フランス語
110 哲学各論	360 社会	610 農業	860 スペイン語
120 東洋思想	370 教育	620 園芸、造園	870 イタリア語
130 西洋哲学	380 風俗習慣、民俗学	630 蚕糸業	880 ロシア語
140 心理学	390 国防、軍事	640 畜産業、獣医学	890 その他諸言語
150 倫理学	400 自然科学	650 林業	900 文学
160 宗教	410 数学	660 水産業	910 日本文学
170 神道	420 物理学	670 商業	920 中国文学、東洋文学
180 仏教	430 化学	680 運輸、交通	930 英米文学
190 キリスト教	440 天文学、宇宙科学	690 通信事業	940 ドイツ文学
200 歴史	450 地球科学、地学、地質学	700 芸術	950 フランス文学
210 日本史	460 生物科学、一般生物学	710 彫刻	960 スペイン文学
220 アジア史、東洋史	470 植物学	720 絵画、書道	970 イタリア文学
230 ヨーロッパ史、西洋史	480 動物学	730 版画	980 ロシア文学
240 アフリカ史	490 医学、薬学	740 写真、印刷	990 その他諸文学

館内案内図



情報処理室とAL（Active Learning）教室の利用について

情報処理室は、1号棟2階（校舎案内図P193参照）にあります。情報・データサイエンス教育や各専門分野の教育研究を、高度な情報処理システムで支援することを目的に設置されています。またAL（Active Learning）教室は、アクティブ・ラーニング利用に特化した教室として整備し、「教え合い・話し合いながらのグループ学習」や「グループ単位でのゼミの発表準備」、「プロジェクターを使っのプレゼンテーション練習」など、情報機器を活用しながら、工夫次第でさまざまな学びを行うことが可能なスペースとして、学生の皆さんの学びの支援を可能としています。

授業が行われていない時間帯は、自習やレポート作成、就職活動など自由に利用できますので、いつでも教務課までお申し出ください。

個人アカウント

本学に入学した学生には、個人アカウントを設定しています。

認証アカウント、メールアカウント（Gmail）、Microsoft365アカウントの情報は、Universal Passportトップページ左下の「お気に入り」欄にある「アカウント情報」にて確認することができます。

※ 本学を出学後（卒業・退学等）は全アカウント及び機器の登録を削除します。

学内ネットワークへの接続

認証について

個人のノートパソコンやタブレットを、九州医療科学大学の学内ネットワークへ接続するには、原則として「機器の認証」と「個人の認証」の2つの認証が必要です。

「機器の認証」を受けるためには、各自でネットワーク機器接続申請を行う必要があります。

Universal Passportトップページ左下の「お気に入り」欄を開き、その中にある「ネットワーク機器接続申請」から申請を行ってください（接続可能になるまで数日かかります）。一度「機器の認証」を行ったノートパソコンやタブレットは、卒業するまで使用することが可能です。

「個人の認証」は、学内ネットワークへ接続するたびに必要となります。学内ネットワークへ接続すると自動的にブラウザ（インターネット）が起動するので、個人アカウントのうちの「認証アカウント」で認証を行ってください。



※ Universal Passport内で申請を行ってください



※ 認証アカウントの情報を入力後、「ログオン」をクリックして下さい。

無線 LAN

学内では「kums-air」の無線 LANを利用できます。

「kums-air」は学内全域で利用可能な無線 LANで、「機器の登録」を行ったノートパソコンやタブレットから、いつでもインターネットを利用できます。

接続情報は以下の表を参考にして下さい。

無線 LAN 名称	接続パスワード	「機器の認証」申請	利用可能な場所
kums-air	kuhw1999	必要	大学全域

ウイルス対策

本学在学中はウイルス対策ソフト（ESET）を無料でインストール・利用することができます。

インストール方法は下記手順のとおりです。

分からない場合は学部・学科担当教員にご相談ください。

- (1) 学内ネットワーク（kums-air）に接続する。
- (2) <http://www.kiui.ac.jp>にアクセスする。
- (3) 学内専用のページをクリック。
- (4) OSに応じたインストーラーをダウンロードする。
- (5) インストーラーを実行（完了まで20分程度かかります）。
- (6) 完了するとタスクバーにESETの  アイコンが表示されます。



E-Mail

電子メールで教員や友人とのコミュニケーションを図ることができます。もちろんレポート提出でも電子メールが盛んに利用されています。コンピュータ初心者でも、興味や好奇心をかきたてられながら日常生活のなかで楽しく学べる環境が整っています。

Gmailへは、<http://gmail.edu.phoenix.ac.jp>よりログインしてください。

Microsoft365

本学の学生は、Word、Excel、PowerPoint、Teamsなど「Microsoft365」のアプリを、在学期間中に限り、自分のPC・スマートフォン等にインストールし無償で利用することができます。

Microsoft365インストール方法

- (1) Microsoft365のサインインページ (<https://login.microsoftonline.com>) にアクセスする。
- (2) Universal Passport トップページ左下の「お気に入り」欄の中にある、Microsoft365のログイン情報を入力しサインイン後、「Officeのインストール」を行う。

※ iOSはAppStore、AndroidはGooglePlayからインストールしてください。

※ Office365 の利用にはインターネット接続が必要です。（約30日に1回、自動でライセンス認証が行われます）

※ サービスを利用できる期間は、本学の在籍期間中に限ります。



禁止事項

学内ネットワークへ接続するパソコンに、Winny、share、Cabos等のファイル交換ソフトをインストールしている場合は、学内ネットワークへの接続を禁止します。

国際交流

本学はアメリカ合衆国オハイオ州立ライト大学を始め、以下の教育機関や施設と教育交流協定を結び、積極的に交流を行っています。

教育交流協定校紹介

※ アイウエオ順／（ ）は協定年月日

■ アイルランド Ireland

メアリー・イマキュレート大学 Mary Immaculate College (2016年8月3日)

■ アメリカ United States of America

オハイオ州立ライト大学 Wright State University (1981年8月22日)

ケープコッド・コミュニティー・カレッジ Cape Cod Community College (1990年5月3日)

ハワイ大学 University of Hawaii (2000年9月30日)

※ ハワイ大学は下記の3大学とコミュニティーカレッジ（短大）7校から構成されている。

- ・ ハワイ大学ヒロ校 University of Hawaii at Hilo
- ・ ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa
- ・ ハワイ大学ウエストオアフ校 University of Hawaii at West Oahu
- ・ ハワイ・コミュニティーカレッジ Hawaii Community College
- ・ ホノルル・コミュニティーカレッジ Honolulu Community College
- ・ カピオラニ・コミュニティーカレッジ Kapiolani Community College
- ・ カウアイ・コミュニティーカレッジ Kauai Community College
- ・ リーワード・コミュニティーカレッジ Leeward Community College
- ・ マウイ・コミュニティーカレッジ Maui Community College
- ・ ウィンワード・コミュニティーカレッジ Windward Community College

フィンドリー大学 University of Findlay (1992年9月27日)

シェネンドーア大学 Shenandoah University (1995年11月20日)

ボストン美術館 Museum of Fine Arts, Boston (2006年10月13日)

グアム大学 University of Guam (2006年4月16日)

ニュージャージーシティ大学 New Jersey City University (2015年9月24日)

フィラデルフィア・コミュニティ・カレッジ Community College of Philadelphia (2018年5月11日)

マーセッド・コミュニティ・カレッジ Merced Community College (2025年4月7日)

■ イギリス United Kingdom

ダービー大学 University of Derby (1996年7月13日)

サンダーランド大学 University of Sunderland (1996年7月13日)

■ イタリア共和国 Italian Republic

ボローニャ大学 University of Bologna (2017年5月25日)

■ インド India

カルベ社会サービス大学院 Karve Institute of Social Services (2004年6月10日)

■ インドネシア Indonesia

ディアン・ヌスワントロ大学 Dian Nuswantoro University (2016年4月12日)

ブアナ・パルジュワンガン・カラワン大学 Universitas Buana Perjuangan Karawang (2017年12月18日)

■ エクアドル Republic of Ecuador

国際大学エクアドル Universidad Internacional del Ecuador (2016年6月14日)

■ オーストリア Austria

ヨハネス・ケプラー大学 Johannes Kepler University (1996年4月23日)

■ オランダ Netherlands

ハンザ応用科学大学 Hanze University of Applied Sciences (2016年6月27日)

ハーグ応用科学大学 The Hague University of Applied Sciences (2016年8月10日)

■ カナダ Canada

モホークカレッジ Mohawk College (1989年12月1日)

ニューカレドニア大学 College of New Caledonia (2016年4月13日)

オカナガン・カレッジ Okanagan College (2019年3月13日)

■ カンボジア Kingdom of Cambodia

サマレアブ高等学校 Samar Leav High School (2019年1月19日)

ヘンサムリン・ブレイロベア高等学校 Heng Samrin Prey Lvea High School (2019年1月19日)

■ ジョージア Georgia

コーカサス大学 Caucasus University (2014年1月30日)

ジョージア演劇・映像大学 Shota Rustaveli Theater and Film Georgia State University (2014年1月30日)

トビリシ国立芸術大学 Tbilisi State Academy of Arts (2014年1月31日)

ジョージア行政大学 Georgian Institute of Public Affairs (2014年2月7日)

■ シンガポール Republic of Singapore

ニー・アン・ポリテクニク Ngee Ann Polytechnic (1993年11月30日)

■ スペイン Spain

サン・ホルヘ大学 Universidad San Jorge (2016年11月1日)

バレアレス諸島大学 University of the Balearic Islands (2017年7月20日)

■ タイ Thailand

チュラロンコン大学 Chulalongkorn University (2001年2月20日)

ラチャスダ大学 Ratchasuda College (2002年2月9日)

タマサート大学 Thammasat University (2015年8月3日)

モンクット王工科大学北バンコク校 King Mongkut's University of Technology North Bangkok (2015年8月24日)

タイ商工会議所大学 University of the Thai Chamber of Commerce (2017年5月19日)

サイアム大学 Siam University (2017年12月1日)

■ ドイツ Germany

SRHハイデルベルグ専門大学 SRH University Heidelberg (2010年5月11日)

F+U Group of Companies (2023年12月20日)

蘇州高等職業技術学校（2023年6月15日）
湖北工業大学（2024年3月21日）
射陽県第二中学教育集团（2024年12月13日）

■ 台湾 Taiwan

南台科技大学 Southern Taiwan University of Science and Technology（1994年5月28日）
稻江高級商業職業学校 Daojiang High School of Commerce（2003年3月22日）
育達科技大学 Yu Da University of Science and Technology（2005年7月22日）
国立台湾芸術大学 National Taiwan University of Arts（2011年7月22日）
致理技術学院 Chihlee Institute of Technology（2015年6月10日）
実践大学 Shih Chien University（2016年11月1日）
龍華科技大学 Lunghwa University of Science and Technology（2022年3月30日）

■ 韓国 Republic of Korea

慶一学園 Kyung il Educational Institution（1997年5月20日）
仁済大学 Inje University（2002年1月24日）
金龍学園 Kum Yong Educational Institution（2002年7月26日）
鶴山学園 Hack San Educational Foundation（2002年7月26日）
清錫学園 Cheongseok Academic Foundation（2004年12月4日）
市立仁川専門大学 Incheon City College（2004年12月17日）
純心教育財団 Sunshim Education Foundation（2005年1月25日）
済州観光大学 Cheju Tourism College（2005年6月18日）
驪州大学 Yeojoo Institute Of Technology（2005年7月12日）
湖西大学 Hoseo University（2005年10月17日）
釜山科学技術大学 Busan Institute of Science and Technology（2006年4月24日）
瑞逸大学 Seoil College（2006年11月28日）
国立江原大学校 Kangwon National University（2007年1月17日）
翰林聖心大学 Hallym College（2009年12月18日）
烏山大学 Osan College（2010年10月26日）
慶南アニメーション高等学校 Gyeongnam Arts High School（2010年10月26日）
釜山外国語大学校 Busan University of Foreign Studies（2014年5月26日）

各学校のプログラム紹介

1. 海外研修プログラム

長期休暇を利用して、協定校を訪問するプログラムです（研修先の大学やプログラムの内容は調整の上決定されますので、必ず実施されるものではありません。学生課からの案内に注意してください）

2. フィンドリー大学奨学留学プログラム

フィンドリー大学からの奨学金を受け、フィンドリー大学と本学との親善大使として、フィンドリー大学へ1年間留学することができるというプログラムです。この奨学金は、フィンドリー大学の授業料に充当されます。

3. ハワイ大学ヒロ校留学プログラム

ハワイ大学ヒロ校へ留学して英語を集中的に4か月間学ぶプログラムです。

ラーニングサポートセンター（英語村）

昨今の情勢からみて、社会に有為な人財であるために、国際コミュニケーション能力は不可欠な要素の一つとなっています。

ラーニングサポートセンター（英語村）は、九州医療科学大学の学生が国際人として、更に力強く、建学の理念に基づいた教育を進めるために英語のコミュニケーション能力を習得するための英語学習センターとして機能しています。

国際コミュニケーション能力を身につけることを目的とする英語村では外国人講師と日本人スタッフが中心となり、留学に必要なTOEFLや大学院進学、就職のためのTOEIC等、学生の目標に応じた英語コミュニケーション能力をそれぞれのプログラムで学ぶことができます（スケジュール調整やレッスンにかかわる費用は発生しません）。

また、英語のレッスンだけでなく、英語を身近なものとして体験できるよう年間を通してハロウィンやクリスマスパーティなどのイベントの開催を企画・参加することもできます。毎日の映画上映や英語のボードゲームなどもあり、気軽に英語に触れていただけます。英語のレッスンだけでなく講義の空き時間などに立ち寄って、『英語』に触れる機会を増やしてみたいはいかがでしょうか？

【利用学生の声】

- ・「会話の練習にとってもよいです。レッスンはアウトプットする良い機会です。」
- ・「自分の目的やレベルに合わせてレッスンを受けることができます。」
- ・「外国人講師のレッスンは、フリートーク力を高めるのにとってもありがたいです。」
- ・「英語以外でも自習やおしゃべりにも利用が出来てたのしいです。」
- ・「他学科、他学年と交流できるので、何か問題があるときはここに来るとだいたい解決できます。」
- ・「イベントではゲームに参加しながら、楽しく英語に親しむことができます。」

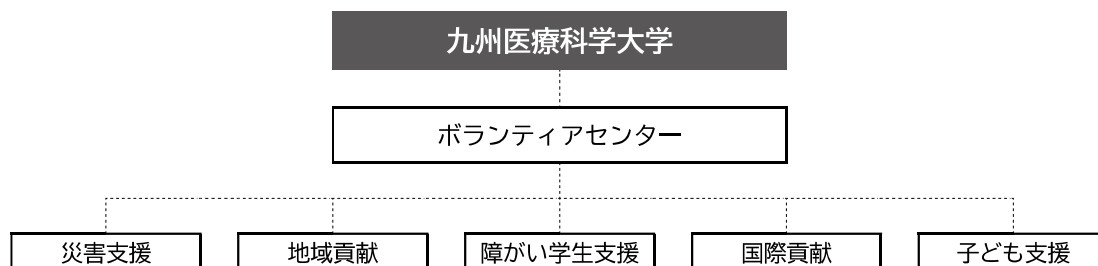


ボランティアセンター

ボランティアセンターとは

2001年9月、順正学園ボランティアセンターとして設立以降、ボランティアに対する関心の高まりのなかで、ボランティア活動への思いのある人や、活動に参加したい人々のために、適切なボランティア活動の機会や、情報を提供するなどの役割を担っています。

本センターの組織形態は、次のとおりです。5つのセクションから形成されています。



センターには専任スタッフが配置され、主に4つのサポートを行っています。

- (1) ボランティア活動に関する相談
「ボランティアに参加したい!」「どのように申し込んだら良いかわからない」などボランティアに関する相談に応じています。また、地理情報に不安がある場合などは丁寧にサポートしています。
- (2) ボランティア活動に関する情報提供
主に延岡市社会福祉協議会や行政、福祉施設やNPO団体などと連携し、ボランティア活動に関する情報を集めています。
ボランティア要請情報については、ユニバーサルパスポートを使い、随時、案内しています。ほか、センター内にボランティア要請情報を掲示しています。
- (3) ボランティア活動受付
大学ボランティアセンター窓口で参加申し込みの受付を行い、一括して要請先にボランティア参加人数などを報告しています。学生のみなさんと要請先のみなさんとの架け橋になります。
- (4) ボランティア活動の企画・運営
通学路や校内などの清掃活動、学内募金活動などを企画・運営しています。

ボランティア活動の心がまえ

ボランティア活動の際には、次の7つを心がけて活動しましょう。

- ① 相手の立場に立つことができる
活動には相手があります。相手が何を求めているのかを理解するために当事者や関係者（要請先も含む）の声にじっくり耳を傾けましょう。身勝手な行動は慎みましょう。
- ② 明るいいいさつができる
あいさつはコミュニケーションの基本です。きちんと相手に伝わるように、気持ちのよいあいさつをしましょう。好印象を与えるだけでなく、信頼感も上がります。
- ③ 主体的な活動ができる
誰かに指示されて行うのではなく、自発的な意思のもとに主体的に活動しましょう。
- ④ 自分を成長させることができる
実践は最大の学習です。ボランティア活動を通して、社会性を身につけ、地域社会に貢献する心を育みましょう。また、身近な生活課題や地域社会の問題が理解できるよう自己研鑽しましょう。
- ⑤ 相談できる
わからないことがあるのは当たり前です。わからないことや困ったことは、自ら積極的に質問しましょう。勝手

に行動すると相手に迷惑をかけてしまいます。また、活動を実践する中で問題や課題にぶつかることもあります。そういう時は、その問題や課題を持ち帰り、みんなで検討したり、教職員の助言を受けたりする等、絶えず学習することによって、一人よがりの活動にならないことが大切です。

⑥ 約束やルールを守ることができる

ボランティアは相手との信頼関係で成り立っています。ルール・約束・時間を守る等常識的なマナーを心がけましょ
う。もしも何かの事情で時間に遅れる場合や欠席する場合は、必ず連絡を入れましょう。

⑦ プライバシーを守ることができる

活動中に知り得た個人情報を漏らさないようにしましょう。個人情報を漏らさないとは、SNS等に活動内容や写真・
動画をアップしないことや家族や友人に個人情報に関する話をしないことです。

ボランティア活動保険について

ボランティア活動中の万が一に備え、ボランティア保険に加入しましょう。保険は、次のような場合に適用されます。

① ボランティア活動中の事故によりケガをした場合（損害保険）

② ボランティア活動中の事故により他人をケガさせた、他人の物を壊した場合（賠償事故）

ボランティア活動保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と契約している保険です。申込は、最寄りの市町村社会福
祉協議会が窓口となっています。ボランティア活動前に必ず加入するようにしましょう。

なお、ボランティア活動保険の加入手続きは、毎年1回（4月中旬から下旬頃）、延岡市社会福祉協議会の職員が来学し、
キャンパス内で手続きすることができます。日程などは、ユニバーサルパスポートで案内します。

フィットネスルームの利用について

各種のフィットネスマシンを揃えています。学生はトレーニングや健康運動に使用することができます。使用にあつ
ては事前に講習を受講する必要があります。希望者は学生課まで申し出てください。

